



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

子どもたち大活躍！学院祭

新型コロナウイルスの制限が解除となり、4年ぶりの通常開催となりました。高学年の子どもたちは、「情報」授業の発表、児童会、クラブ活動、部活動、作品展の受付など、当日もそれぞれに役割が有り、自分が行きたい展示等との時間配分を考えながら動いたことと思います。また、低学年の子どもたちは、プログラム片手に学院中を巡りながら楽しめたことと思います。

今年はアルミ缶アートも復活しました。缶を持ち寄り、色別に分け、穴を開け、設計図通りに針金を通す等の工程を全員で分担し、前日の発表式に完成を祝うことができました。

アリーナ3の作品展示では子どもたちの学習の成果を発表し、たくさんの好評をいただきました。

それぞれの役割は様々ですが、分担したことで、自分たちの手で作り上げた学院祭という実感が沸き上がったのではないのでしょうか。文化祭当日、普段以上に子どもたちが生き生きと役割を果たしている姿や協力して活動する姿が見られて、嬉しい気持ちになりました。

皆様のご協力ありがとうございました。

10月行事予定

2日 朝会	24日 職員会議
3日 クラブ	27日 秋の音楽集会
5日 火曜時程・職員会議	入試準備
6日 芸術鑑賞会	28・29・30日
9日 祝 スポーツの日	入学試験・判定会議・自宅学習
10日 職員会議	31日 振替休業(10/29分)
13日 仏教朝礼、陸上大会	
14日 休業日	11月3日 祝 文化の日
17日 職員会議	4日 振替休業(11/25分)
18日 火曜時程	
20日 校外学習(TDL)	
21日 休業日	



2023年10月号 10月2日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>



復活！『育友会の部屋』

「お面やバルーンは、どこに行けばよいですか」と、多くの方から尋ねられました。『育友会の部屋』を探している方々でした。

ガラポン、アクセサリー作り、バルーンアート、金魚すくい、アカデミック、おみくじ、縁日さながらの大盛況でした。

育友会の皆様の学院祭にかけける熱い想いと子どもたちへの愛情がひしひしと感じられました。企画、準備、当日の運営等、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



今月の目標

「時間を守って、機敏に行動しましょう。」

「心身一如」について

厚生労働省では、毎年10月を「臓器移植普及推進月間」と定めています。臓器移植とは、病気やけがで身体(内臓)機能が著しく低下した時に、他の人から臓器を提供してもらう治療のことです。この臓器移植を行うことで、患者の命を救い、身体機能を回復する事ができます。ただし、日本では、欧米と比べ臓器移植が普及していない状況から、厚生労働省では、臓器移植を推進したいと考え、普及活動を行っています。

欧米における脳死臓器移植普及の背景には、キリスト教思想の「霊肉二元論」や、デカルトの説いた「物心二元論」が定着しており、肉体(物質)と心(精神)を分けて考え、意識を消失する脳死は生きているとはいえず、「人の死」と捉える考え方につながったといわれます。そして仏教では肉体(遺体)に対する執着はありませんが、「心身一如(しんしんいちによ)」の思想から、人の心は脳だけの機能ではなく、人は全身で感じ、全身に命が満ちていると考え、脳機能が停止した脳死がそのまま「人の死」ではないと捉えます。臓器移植が、国の経済力や貧富の差によって命の価値や選別につながらないように、私たち一人一人が死生観についてしっかり考えないといけません。



見てみよう！聞いてみよう！

「42分後にはインターネットの恐さをみなさん感じていますよ」と、いきなりお話しに引き込まれました。9月27日、5、6年生がSNSの講習会を受講しました。講師は国際大学 GL OCOM 客員研究員の小木曾健さんです。インターネットに気軽に書き込んだ情報があっという間に拡散していくこと、個人情報ではないほんの小さな情報から個人が特定されてしまうこと、ネット炎上になったら一生ついてまわること等、事例を挙げながら話していただきました。インターネットは便利で幸せをもたらす一面もあるけれど、怖い面があることを充分に知った上で使わなければいけないと強く思いました。『ネットは玄関の外側』覚えておきましょう。